

**新年明けまして、
おめでとうございます。**

市民の皆様と、すがすがしい希望に満ちた新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年中は、多くの方々が市議会に関心をお寄せいただき、開かれた議会を目指すことができましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は地方分権改革が進展する中で、地方公共団体の責任領域が拡大され、地方議会もその制度のあり方について、盛んに論議がなされたところであります。住民自治に根ざした地方分権を図る上から、議会の活性化は益々重要視されたところであります。

こうした状況を踏まえ、当市議会では、特別委員会において、合併後の懸案事項でありました新図書館の建設に伴う調査研究を鋭意行い、市民が利用しやすい文教施設

の実現のため、また、臨海部の整備につきましては、東予港湾整備計画を中心にその推進について、それぞれ積極的な論議を重ねてまいりました。同様に、各常任委員会におきましても、所管の事務調査及び請願付託案件等に誠心誠意取り組み、地方分権型社会の実現に寄与してまいりました。行政全般においては、「水問題」では、水資源に関する研究会を発足し、また、11月に降ひよう被害を被ったあたご柿等については、現地調査を行うなど、それぞれに行政と共に適宜対応し、市民福祉の向上に努めてまいりました。

これらを背景に、本年は、市において主要事業の継続実施とともに、新たな分権制度改革の推進を図るため、また、地域主権の時代を生き抜くために、自主自立の道を歩むべく新市建設計画に沿った諸事業が推進されます。とりわけ、まちづくり基盤整備事業、新図書館建設事業、東予運動公園整備事業等については、将来、当市発展の

礎となるものであり、市議会といたしましても議員総意で、これらに取り組んでゆく所存でございます。

内外の政治・経済・社会情勢は誠に厳しいものがありますが、本年も市民の皆様の負託とご期待に添うべく、わたしども全議員が、議会人の本旨を肝に銘じ、西条市発展のため「人がつどい まちが輝く 快適環境実感都市」の実現に向け、全力を傾注してまいります。

結びに、平成19年が市民の皆様にとつてご健勝で幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

新年のお慶びを申し上げます

平成十九年元旦

西条市議会議員一同



西条市議会議長
高橋 和 寿

**皆様の
ご健勝とご多幸を
お祈り申し上げます**